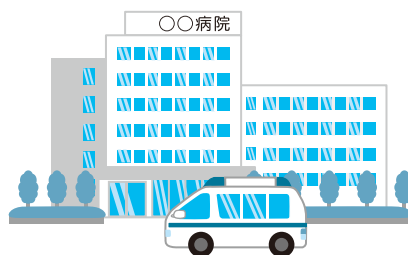


# 地域包括ケアシステムとは？

令和4年の荒川区の75歳以上の高齢者（後期高齢者）は約26,200人。令和7年には28,900人以上となることが予測されています。また、単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症のある方が近年増えてきており、今後、何らかの支援を必要とする人の増加が見込まれます。

## 地域包括ケアシステムの姿

いざという時には、かかりつけ医からの紹介で入院できる病院があります。



### 病院

- ・急性期
- ・回復期
- ・慢性期

### 日常の医療

- ・かかりつけ医
- ・地域の連携病院

病気になったら…

### 医療



かかりつけ医やかかりつけ薬局を決めて、いつでも気軽に相談できるようにしましょう。

通院・入院

- 地域包括支援センター
- ケアマネジャー



相談業務やサービスのコーディネートを行います。

不安や困りごと等、何でも相談できます。ケアマネジャーはその人の目標に合ったケアプランを作成しサービスの調整をします。

ボランティアや地域団体等による多様なサービスが日常生活を支えます。

### 住まい

- ・自宅
- ・サービス付き高齢者向け住宅等

いつまでも

### 生活支援・



高齢者クラブ・自治会・町会・

こうした中、荒川区の各種調査では、高齢者の約7割が、「介護が必要になったとき、在宅サービスを利用しながら自宅で暮らし続けたい」と回答しています。

そこで、住み慣れた地域で継続して生活できる社会の実現に向けて、①生活支援 ②介護予防 ③介護 ④住まい ⑤医療の5つのサービスを地域のネットワークの中で一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築を実現することが求められています。

荒川区では、地域の特性にあった地域包括ケアシステムの実現に向け、さまざまな取組を行っています。

## 介護が必要になったら…

### 介護



通所・入所



#### 在宅系サービス

- ・訪問介護・訪問看護・通所介護
- ・小規模多機能型居宅介護
- ・短期入所生活介護
- ・24時間対応の訪問サービス

#### 介護予防サービス

#### 施設・居住系サービス

- ・介護老人福祉施設
- ・介護老人保健施設
- ・認知症共同生活介護
- ・特定施設入所者生活介護等

施設入所(中長期・短期)やさまざまな介護サービスを組み合わせ、在宅生活を継続します。

※地域包括ケアシステムは、おおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏域を単位として想定

### 介護保険制度における区の「自立」の考え方

介護保険法には、「自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生じる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めることは、国民の努力及び義務」と掲げられています。

区においても、介護予防と重症化予防を推進しており、この取組みの一環として、以下のとおり「自立」の考え方をまとめました。

### 区の「自立」についての考え方

一人ひとりの体や心、生活の状況等に応じて、生きがいや楽しみを持って自分らしい生活を送ること

元気に暮らすために…

### 介護予防



元気であるための介護予防や生きがいの活動が活発に行われています。

ボランティア・NPO等

